

第6次朝日町総合計画の策定に係るまちづくりアンケート調査

報 告 書

(概 要 版)

令和7年3月

朝 日 町

調査概要

(1) 目的

令和 8 年度からの町政運営の指針となる「第 6 次朝日町総合計画後期基本計画」の策定に向け、町民のニーズを踏まえ、町が目指すべき施策の方向性を点検し、重点化すべき施策をとりまとめるため、町民を対象にアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

朝日町に居住する満 16 歳以上の男女 2,500 名を対象（住民基本台帳から無作為抽出）

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回答及び Web 回答

(4) 調査期間

令和 6 年 10 月 1 日～令和 6 年 10 月 21 日

(5) 回収率

回収数：964 票／配布数 2,500 票 回収率 38.6%

【調査の信頼度（95%を設定）に必要な有効回収票 333 票を上回る】

※回収数内訳 郵送：613 票 Web：351 票

(6) 調査項目

○回答者の属性について

性別や年齢など、回答者ご自身のことについてうかがいました。

○まちへの愛着度と定住意向について

まちへの愛着度と今後の定住意向についてうかがいました。

○まちの現状と今後の取り組みについて

まちづくり分野ごとの具体的な施策内容について、現状の満足度と今後の重要度についてうかがいました。また、今後のまちづくりを進めていくうえで、取り組む分野の順序付けを行っていただきました。さらには、町の行政サービス全般の満足度についてうかがいました。

○ごみの分別について

現在のごみの分別状況と、今後のごみの分別への取り組み、違反への対応等についてうかがいました。

○「効率的な行財政運営」について

現在の町の行財政運営と、今後の効率的な行財政運営について意見や提案等をうかがいました。

○回答者の日ごろの取り組み状況について

日ごろの環境配慮行動や地域活動などについてうかがいました。

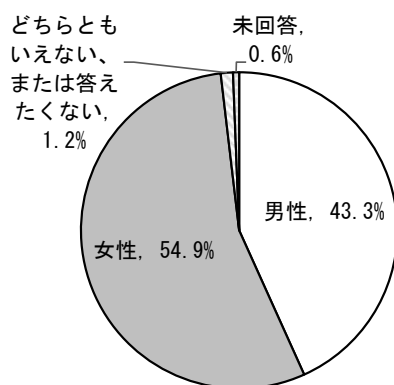
調査の結果

1. 回答者の属性

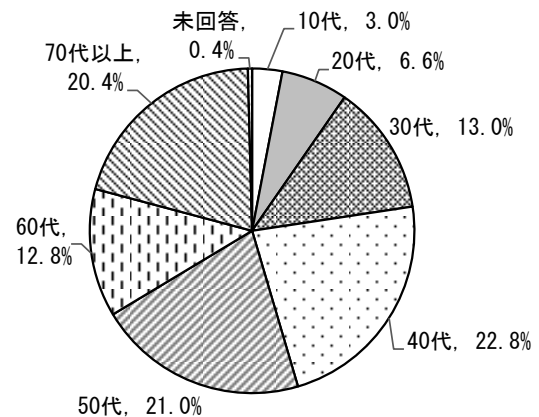
(1) 性別・年齢別

- 回答者の性別は、「女性」が「男性」よりも 10%以上高い割合となっています。
- 回答者の年代別は、「40 代」が 22.8%で最も多く、次いで「50 代」の 21.0%、「70 代以上」の 20.4%などとなっています。

【性別】



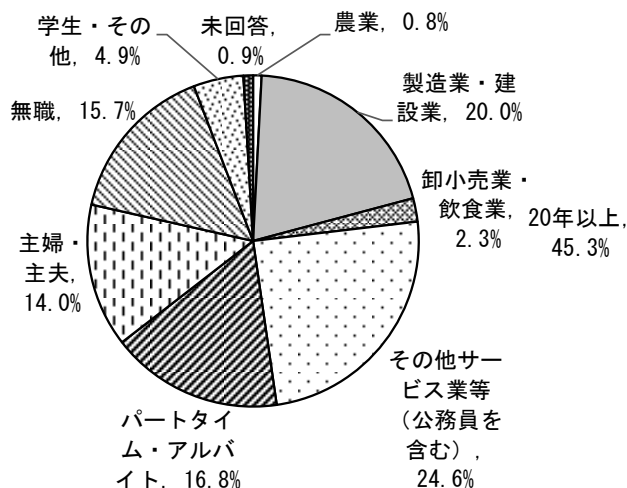
【年齢】



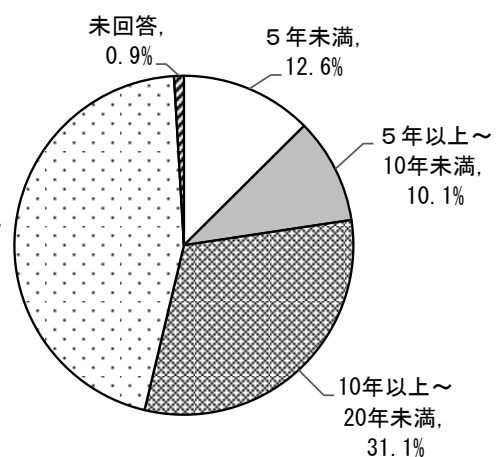
(2) 職業・居住年数

- 回答者の職業は、「その他のサービス業等」が 24.6%で最も多く、次いで「製造業・建設業」が 20.0%、「パートタイム・アルバイト」の 16.8%、「無職」の 15.7%などとなっています。
- 回答者の居住年数は、「20 年以上」が 45.3%で最も多く、次いで「10 年以上～20 年未満」の 31.1%、「5 年未満」の 12.6%となっており、10 年以上の居住が全体の 7 割を超えています。

【職業】



【居住年数】



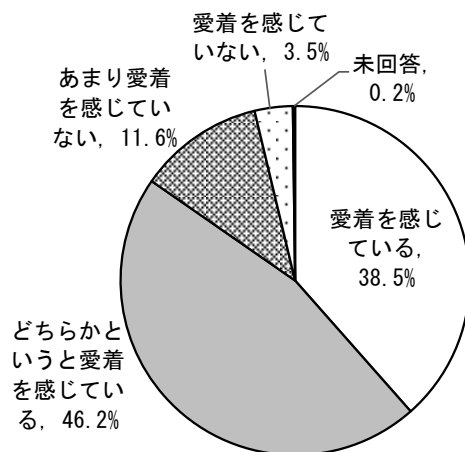
2. まちへの愛着度と定住意向について

(1) まちへの愛着度について

○「愛着を感じている」、「どちらかというと愛着を感じている」を合わせると 84.7%となり、全体で 8 割以上が『愛着を感じている』と回答しています。年代別にみると 70 代以上が最も高く 90.8%となっています。

○「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」を合わせると 15.1%となり、全体では 2 割未満が『愛着を感じていない』と回答しています。年代別にみると、20 代が最も高く 20.3%となっています。

	1 愛着を感じて いる	2 どちらかとい うと愛着を感 じている	3 あまり愛着を 感じていない	4 愛着を感じて いない	5 未回答	全体
全体	371 38.5%	445 46.2%	112 11.6%	34 3.5%	2 0.2%	964 100.0%
10代	17 58.6%	9 31.0%	3 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
20代	19 29.7%	32 50.0%	8 12.5%	5 7.8%	0 0.0%	64 100.0%
30代	36 28.8%	70 56.0%	14 11.2%	5 4.0%	0 0.0%	125 100.0%
40代	74 33.6%	111 50.5%	29 13.2%	6 2.7%	0 0.0%	220 100.0%
50代	82 40.6%	85 42.1%	25 12.4%	10 5.0%	0 0.0%	202 100.0%
60代	47 38.2%	54 43.9%	19 15.4%	3 2.4%	0 0.0%	123 100.0%
70代以 上	96 48.7%	83 42.1%	14 7.1%	4 2.0%	0 0.0%	197 100.0%
未回答	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100.0%



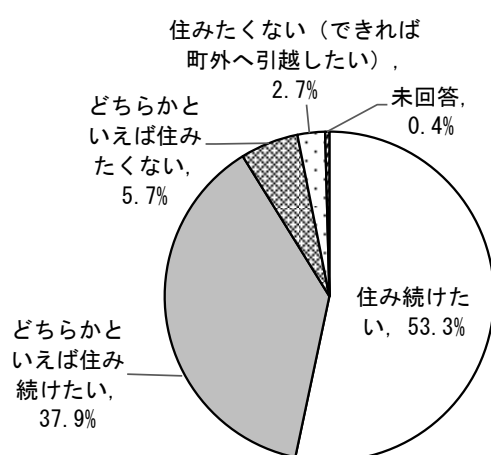
(2) まちへの定住意向について

○「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 91.2%となり、全体で 9 割以上が『住み続けたい』と回答しています。年代別にみると、70 代以上が最も高く 94.0%となっています。

○「住みたくない（できれば町外へ引越したい）」、「どちらかといえば住みたくない」を合わせると 8.4%となり、全体で 1 割未満が『住みたくない』と回答しています。年代別にみると 20 代が最も高く 11.0%となっています。

	1 住み続けたい	2 どちらかとい えは住み続け たい	3 どちらかとい えは住みたく ない	4 住みたくない (できれば町 外へ引越した い)	5 未回答	全体
全体	514 53.3%	365 37.9%	55 5.7%	26 2.7%	4 0.4%	964 100.0%
10代	10 34.5%	17 58.6%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%	29 100.0%
20代	19 29.7%	38 59.4%	4 6.3%	3 4.7%	0 0.0%	64 100.0%
30代	63 50.4%	49 39.2%	9 7.2%	3 2.4%	1 0.8%	125 100.0%
40代	109 49.5%	90 40.9%	17 7.7%	4 1.8%	0 0.0%	220 100.0%
50代	106 52.5%	81 40.1%	8 4.0%	7 3.5%	0 0.0%	202 100.0%
60代	68 55.3%	43 35.0%	9 7.3%	3 2.4%	0 0.0%	123 100.0%
70代以 上	139 70.6%	46 23.4%	8 4.1%	3 1.5%	1 0.5%	197 100.0%
未回答	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100.0%

【定住意向】



（３）まちの魅力について

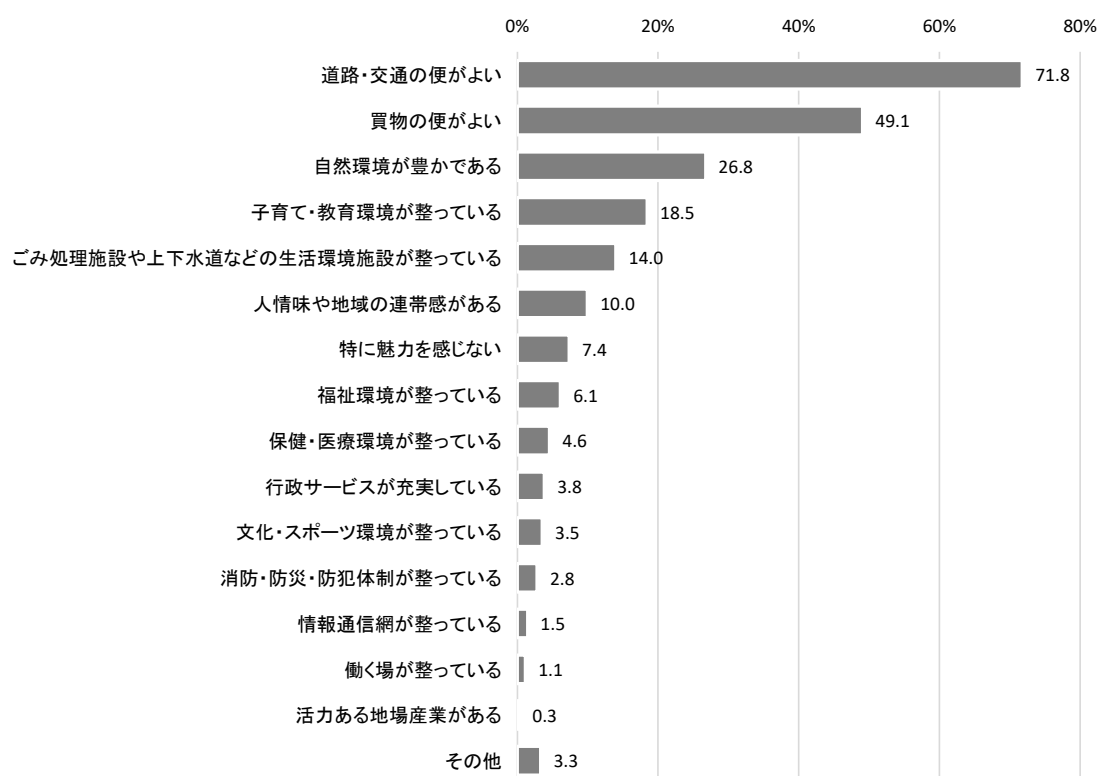
【魅力を感じているところ】

○回答者のうち、71.8%が「道路・交通の便のよさ」、49.1%が「買物の便のよさ」、26.8%が「自然環境の豊かさ」に町の魅力を感じています。

項目	回答数	選択率
自然環境が豊かである	258	26.8%
ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている	135	14.0%
道路・交通の便がよい	692	71.8%
情報通信網が整っている	14	1.5%
消防・防災・防犯体制が整っている	27	2.8%
文化・スポーツ環境が整っている	34	3.5%
子育て・教育環境が整っている	178	18.5%
福祉環境が整っている	59	6.1%
保健・医療環境が整っている	44	4.6%
買物の便がよい	473	49.1%
働く場が整っている	11	1.1%
活力ある地場産業がある	3	0.3%
人情味や地域の連帯感がある	96	10.0%
行政サービスが充実している	37	3.8%
特に魅力を感じない	71	7.4%
その他	32	3.3%
未回答	5	0.5%

注）本設問は複数回答。

注）選択率は、回収数 964 票のうち、当該選択肢を選んだ割合を示しています。



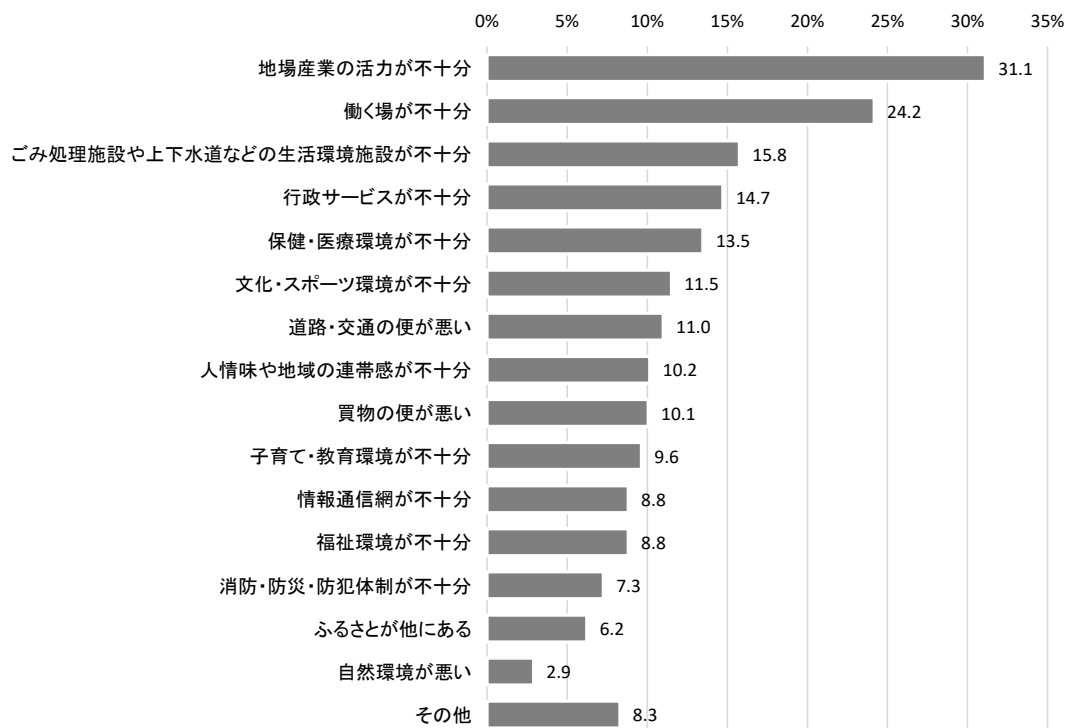
【魅力を感じていないところ】

○回答者のうち、31.1%が「地場産業の活力」、24.2%が「働く場」、15.8%が「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設」に町の魅力がないと感じています。

項目	回答数	選択率
自然環境が悪い	28	2.9%
ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が不十分	152	15.8%
道路・交通の便が悪い	106	11.0%
情報通信網が不十分	85	8.8%
消防・防災・防犯体制が不十分	70	7.3%
文化・スポーツ環境が不十分	111	11.5%
子育て・教育環境が不十分	93	9.6%
福祉環境が不十分	85	8.8%
保健・医療環境が不十分	130	13.5%
買物の便が悪い	97	10.1%
働く場が不十分	233	24.2%
地場産業の活力が不十分	300	31.1%
人情味や地域の連帯感が不十分	98	10.2%
行政サービスが不十分	142	14.7%
ふるさとが他にある	60	6.2%
その他	80	8.3%
未回答	70	7.3%

注) 本設問は複数回答。

注) 選択率は、回収数 964 票のうち、当該選択肢を選んだ割合を示しています。

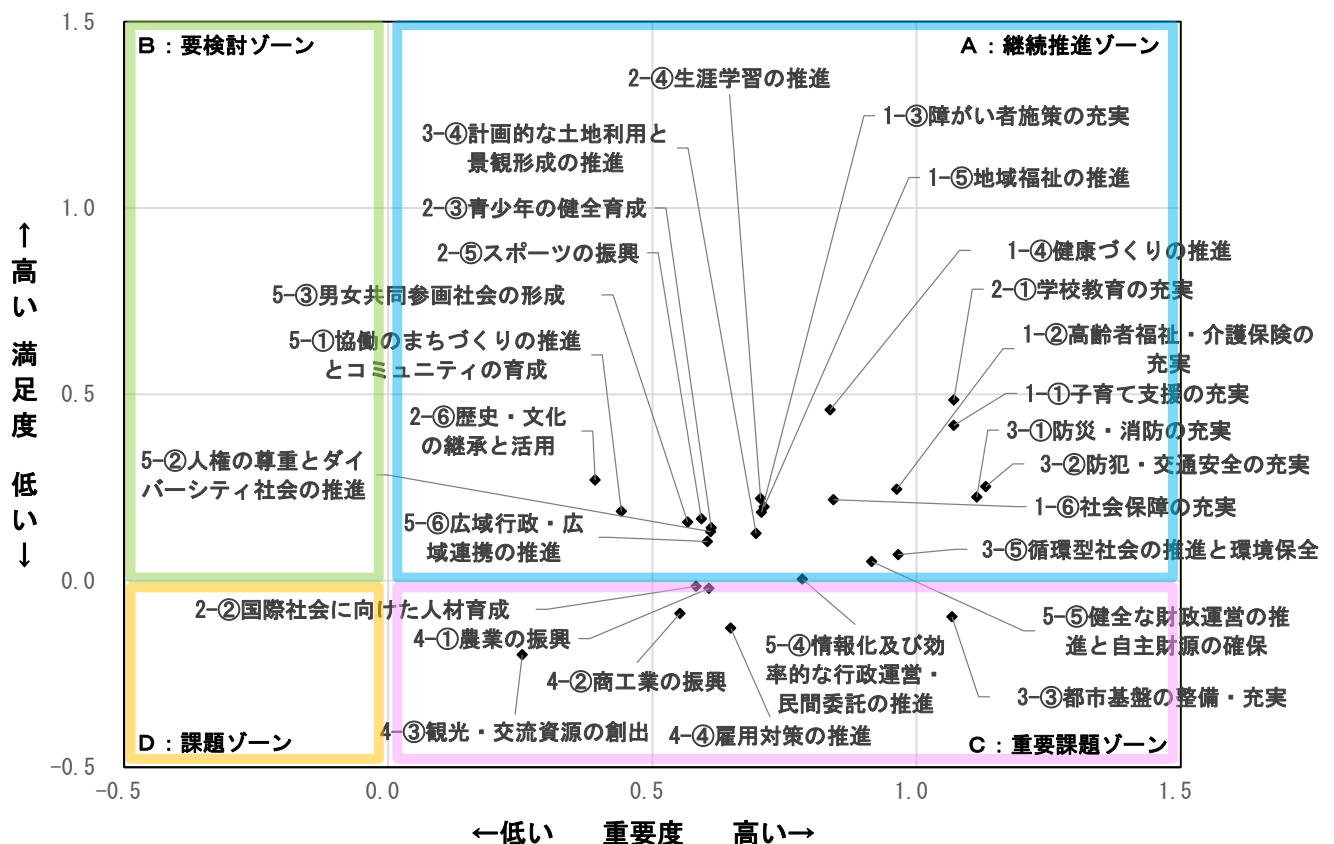


3. まちの現状と今後の取り組みについて

(1) まちづくり施策の現状評価と今後の取り組み重要度について

- まちづくりに関する 27 施策項目について、現状の満足度と今後の重要度についてうかがいました。
- この結果を満足度の平均値と重要度の平均値をもとに、下図のような、「継続推進ゾーン」、「要検討ゾーン」、「重要課題ゾーン」、「課題ゾーン」の 4 つのエリアに分け、散布図を作成しました。
- その結果、「子育て、保健・医療・福祉分野」は全項目が満足度・重要度ともに高い「継続推進ゾーン」に位置しています。また、「教育、文化・スポーツ分野」では「②国際社会に向けた人材教育」、「安全・安心、都市基盤、環境・ごみ分野」では「③都市基盤の整備・充実」、「住民参画、行財政分野」では「④情報化及び効率的な行政運営・民間委託の推進」がそれぞれ満足度は低いが高重要度の高い「重要課題ゾーン」に位置している以外は、「継続推進ゾーン」に位置しています。「農業、商工業、観光・交流分野」は、全ての項目で「重要課題ゾーン」に位置しています。
- なお、「要検討ゾーン」、「課題ゾーン」には分布はみられません。

【まちづくり施策の現状の満足度と重要度の分析図】



（２）まちづくりの特色として重要度が高い分野について

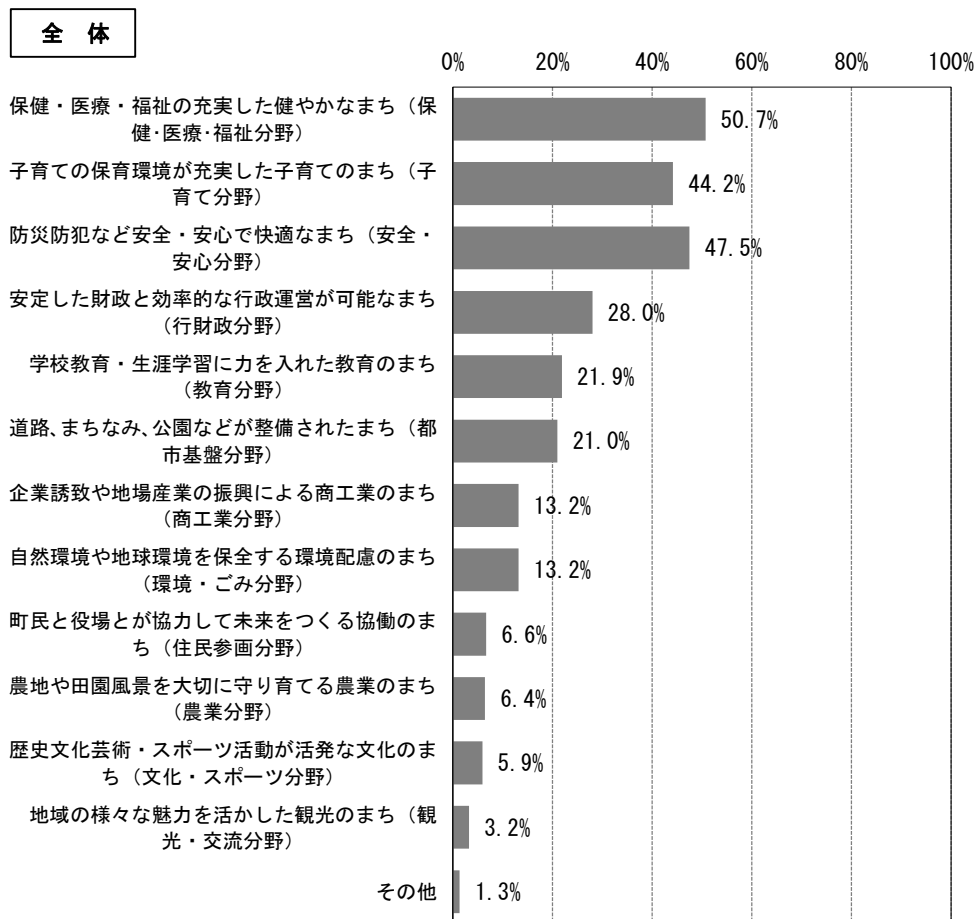
○まちづくりの特色として、上位 5 位に挙げられた分野は以下のとおりです。

- 1 位 保険・医療・福祉分野 50.7%
- 2 位 安全・安心分野 47.5%
- 3 位 子育て分野 44.2%
- 4 位 行財政分野 28.0%
- 5 位 教育分野 21.9%

○年代別では、20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上で安全・安心分野を上位に挙げており、防災・防犯への意識が高くなっています。

○10 代、20 代、30 代は他の年代よりも子育て分野への意識が高い傾向にあります。

【まちづくりの特色として重要度が高い分野】



	1	2	3	4	5	
	全体1位 保健・医療・福祉の充実した健やかなまち（保健・医療・福祉分野）	全体2位 子育ての保育環境が充実した子育てのまち（子育て分野）	全体3位 防災防犯など安全・安心で快適なまち（安全・安心分野）	全体4位 安定した財政と効率的な行政運営が可能なまち（行財政分野）	全体5位 学校教育・生涯学習に力を入れた教育のまち（教育分野）	未回答
1位	227 23.5%	256 26.6%	136 14.1%	62 6.4%	42 4.4%	108 11.2%
2位	157 16.3%	107 11.1%	172 17.8%	78 8.1%	99 10.3%	126 13.1%
3位	105 10.9%	63 6.5%	150 15.6%	130 13.5%	70 7.3%	121 12.6%
全体	489 50.7%	426 44.2%	458 47.5%	270 28.0%	211 21.9%	355 36.8%
10代	13 44.8%	18 62.1%	9 31.0%	6 20.7%	10 34.5%	8 27.6%
20代	31 48.4%	36 56.3%	22 34.4%	14 21.9%	16 25.0%	16 25.0%
30代	43 34.4%	102 81.6%	52 41.6%	20 16.0%	63 50.4%	35 28.0%
40代	116 52.7%	107 48.6%	110 50.0%	65 29.5%	58 26.4%	55 25.0%
50代	108 53.5%	57 28.2%	110 54.5%	62 30.7%	28 13.9%	85 42.1%
60代	64 52.0%	39 31.7%	49 39.8%	48 39.0%	15 12.2%	60 48.8%
70代以上	110 55.8%	66 33.5%	104 52.8%	55 27.9%	20 10.2%	96 48.7%
未回答	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%

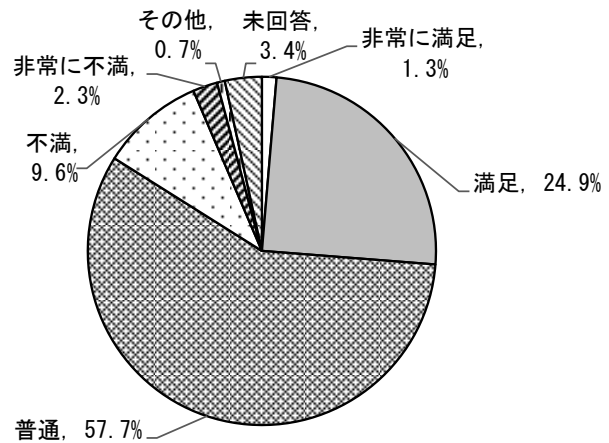
注）本設問は複数回答。

注）票数とともに選択率を示しています。なお、1 位から全体までの選択率は、回収数 964 票のうち、当該選択肢を選んだ割合を示しています。また、10 代から未回答までの選択率は、それぞれの年代の回答数から、当該選択肢を選んだ割合を示しています。

（３）まちの行政サービス全般の満足度について

○回答者のうち、半数を超えて 57.7%が「普通」と感じ、また、24.9%が「満足」、1.3%が「非常に満足」を合わせると、26.2%が『満足』と感じています。一方で、「不満」、「非常に不満」は、11.9%にとどまっています。

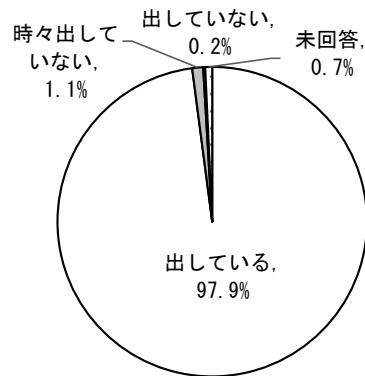
項目	回答数	構成比
非常に満足	13	1.3%
満足	240	24.9%
普通	556	57.7%
不満	93	9.6%
非常に不満	22	2.3%
その他	7	0.7%
未回答	33	3.4%
全体	964	100.0%



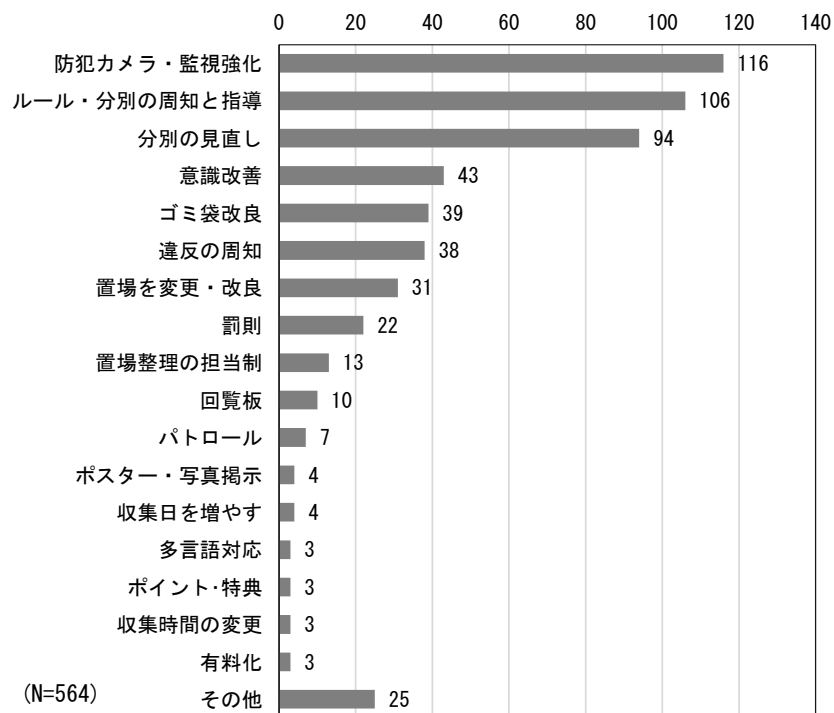
4. ごみの分別について

- 9割以上の町民が、「決められた日時・場所」へごみ出しを行っています。
- 違反ごみを無くす方法として、「防犯カメラ・監視強化」、「ルール・分別の周知と指導」、「分別の見直し」が多くなっています。

【決められた日時・場所へのごみ出し】



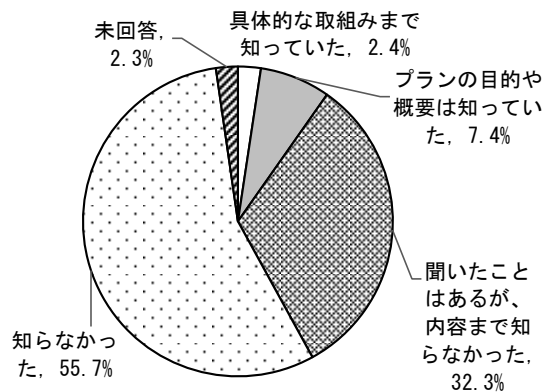
【違反ごみを無くす方法】



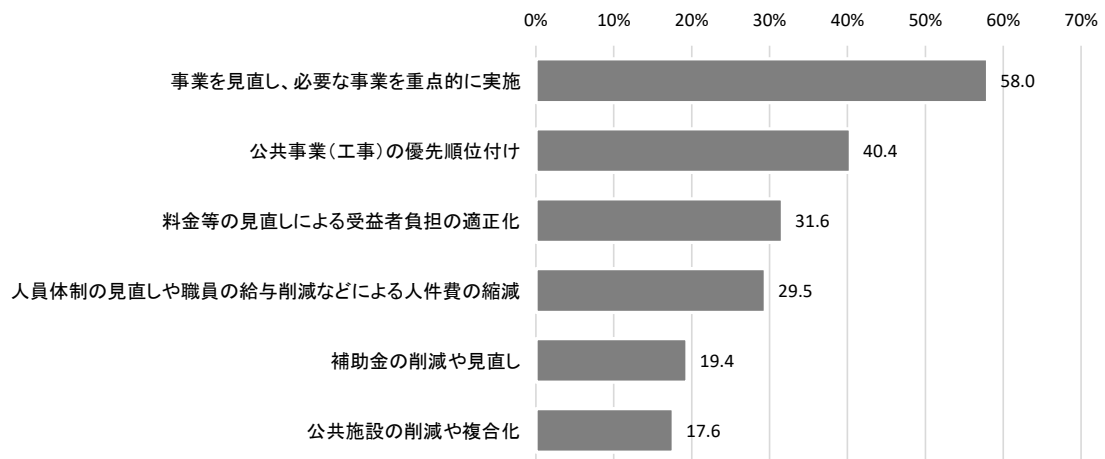
5. 効率的な行財政運営について

- 朝日町財政改革推進プランを目的、概要まで知っている町民は、合計で 9.8%となり、聞いたことはあるが、内容まで知らなかった町民は 32.3%、知らなかった町民は 55.7%となっています。
- 効率的な行財政運営に向け、重要な取り組みとして、「事業を見直し、必要な事業を重点的に実施」が 58.0%で半数を超えて最も多く、「公共事業（工事）の優先順位付け」が 40.4%で 4 割を超えています。

【朝日町財政改革推進プランの認知】



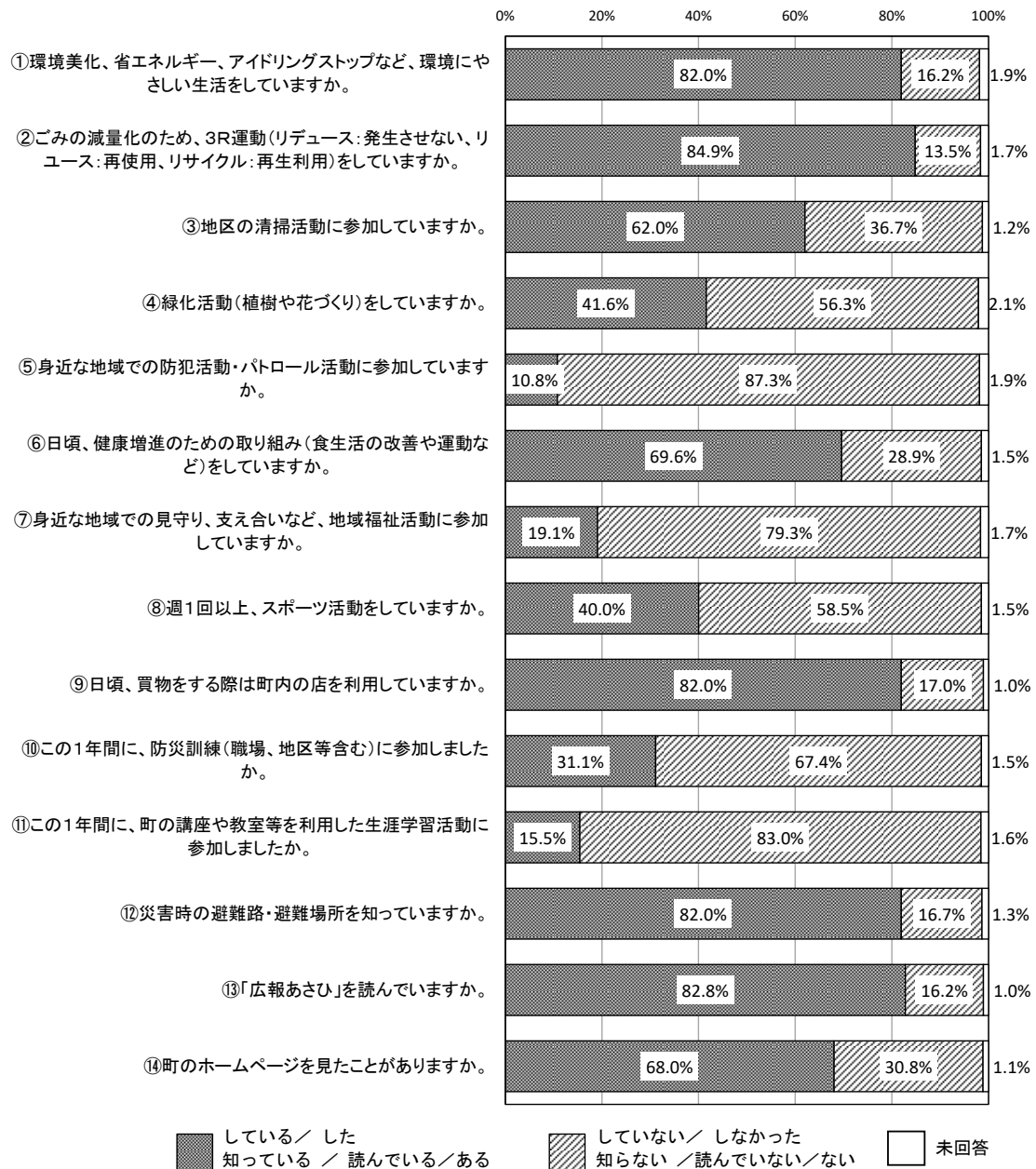
【重点的な取り組み】



6. 回答者のまちづくり等に係る行動について

- 町民の日ごろ取り組んでいる項目として、ごみの減量化、「広報あさひ」の閲覧、環境美化、町内での買物、災害時の避難路・避難場所の確認などが挙げられています。
- 一方、していない項目として、地域での防犯活動、生涯学習活動、地域の見守り・福祉活動、防災訓練、スポーツ活動、緑化活動への参加が半数以上を占めています。

【日頃のまちづくりに係る取組行動の現状】



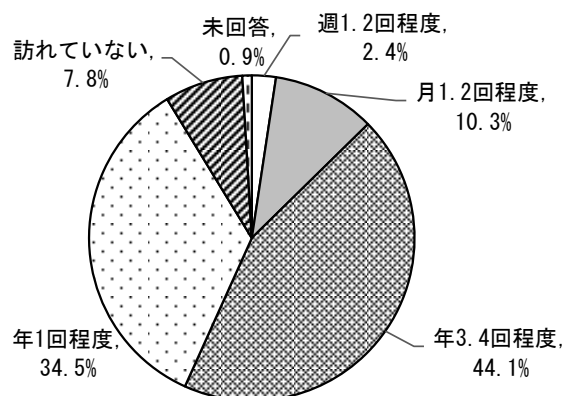
⑮ この 1 年間に、役場に来られたことがありますか。

○回答者のうち、44.1%が「年 3、4 回程度」、34.5%が「年 1 回程度」であり、年間であまり多く役場を訪れていない状況です。

○年代別では、10 代、20 代が「年 1 回程度」が最も多く、30 代以上は「年 3、4 回程度」が最も多くなっています。

	1	2	3	4	5	6	
	週1.2回程度	月1.2回程度	年3.4回程度	年1回程度	訪れていない	未回答	全体
全体	23 2.4%	99 10.3%	425 44.1%	333 34.5%	75 7.8%	9 0.9%	964 100.0%
10代	0 0.0%	1 3.4%	7 24.1%	13 44.8%	8 27.6%	0 0.0%	29 100.0%
20代	0 0.0%	5 7.8%	23 35.9%	25 39.1%	10 15.6%	1 1.6%	64 100.0%
30代	0 0.0%	15 12.0%	64 51.2%	36 28.8%	9 7.2%	1 0.8%	125 100.0%
40代	3 1.4%	20 9.1%	94 42.7%	89 40.5%	14 6.4%	0 0.0%	220 100.0%
50代	9 4.5%	11 5.4%	93 46.0%	74 36.6%	14 6.9%	1 0.5%	202 100.0%
60代	6 4.9%	16 13.0%	47 38.2%	43 35.0%	9 7.3%	2 1.6%	123 100.0%
70代以上	5 2.5%	31 15.7%	95 48.2%	51 25.9%	11 5.6%	4 2.0%	197 100.0%
未回答	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%

項目	回答数	構成比
週1.2回程度	23	2.4%
月1.2回程度	99	10.3%
年3.4回程度	425	44.1%
年1回程度	333	34.5%
訪れていない	75	7.8%
未回答	9	0.9%
全体	964	100.0%



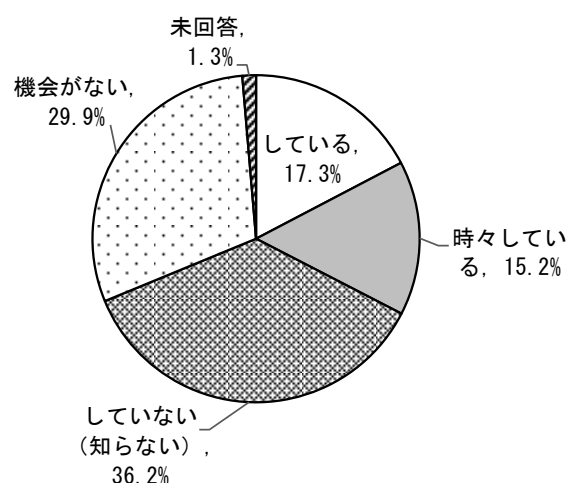
⑯ 証明書の発行や申請手続きについて、パソコン、スマートフォン、コンビニを利用したことがありますか。

○回答者のうち、36.2%が「していない（知らない）」で最も多く、29.9%が「機会が無い」、17.3%が「している」、15.2%が「時々している」としており、半数以上の回答者が『利用していない』状況です。

○一方で、10代及び20代では、「している」、「時々している」を合わせると、半数以上が『利用している』状況です。

	1 している	2 時々している	3 していない（知らない）	4 機会がない	5 未回答	全体
全体	167 17.3%	147 15.2%	349 36.2%	288 29.9%	13 1.3%	964 100.0%
10代	11 37.9%	7 24.1%	5 17.2%	6 20.7%	0 0.0%	29 100.0%
20代	19 29.7%	18 28.1%	10 15.6%	16 25.0%	1 1.6%	64 100.0%
30代	31 24.8%	21 16.8%	30 24.0%	42 33.6%	1 0.8%	125 100.0%
40代	44 20.0%	43 19.5%	64 29.1%	69 31.4%	0 0.0%	220 100.0%
50代	33 16.3%	24 11.9%	76 37.6%	66 32.7%	3 1.5%	202 100.0%
60代	17 13.8%	17 13.8%	51 41.5%	36 29.3%	2 1.6%	123 100.0%
70代以上	12 6.1%	17 8.6%	112 56.9%	50 25.4%	6 3.0%	197 100.0%
未回答	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%

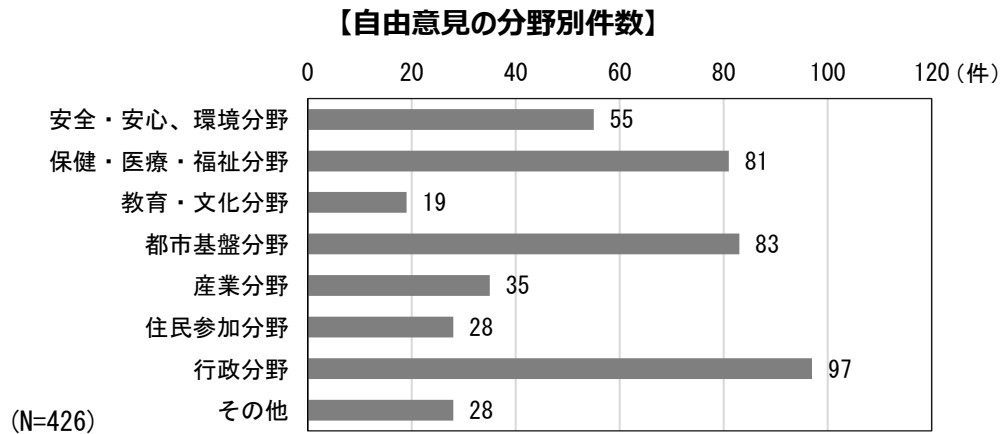
項目	回答数	構成比
している	167	17.3%
時々している	147	15.2%
していない（知らない）	349	36.2%
機会がない	288	29.9%
未回答	13	1.3%
全体	964	100.0%



7. まちづくりに関する自由意見について

○アンケートの最後に、まちづくりに関するアイデア、重要だと思う意見・提案などを自由に記載していただきました。

○分野別に整理すると、行政分野が 97 件で最も多く、次に、都市基盤分野が 83 件、保険・医療・福祉分野が 81 件、安全・安心、環境分野が 55 件の意見・提案を頂きました。



最後にアンケート調査にご協力くださいました多くの町民の皆様にご感謝申し上げます。

以上